

第1回小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進委員会

日 時 令和3年5月13日(木) 19時00分～19時30分

場 所 Web会議

出席委員 8人

委員長 渡 邊 嘉二郎 委員

副委員長 小 川 順 弘 委員

委 員 官 坂 一 平 委員 飯 田 真奈美 委員

野 口 真 由 委員 小 野 裕 平 委員

大 森 康 雄 委員 天 野 建 司 委員

欠席委員 1人

委 員 小 宮 貴 大 委員

---

事務局職員

企画政策課長 梅 原 啓太郎

企画政策課企画政策係主任 前 坂 悟 史

企画政策課企画政策係主事 鎌 田 莉 央

---

傍 聴 実施せず

(午後7時00分開会)

◎渡邊委員長 ただ今から第1回小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進委員会を開催いたします。本日はWebでの開催としておりますので、事務局、出席者の確認をお願いします。

◎梅原企画政策課長 本日は、小宮委員から欠席の連絡をいただいております。現時点で8人の出席をいただいております。よろしくお願いいたします。

◎渡邊委員長 この会議の定足数は委員の半数となっており、現在9人中8人御出席ですので、本会議は成立しております。

前回の会議から時間が空いてしまいましたが、引き続きよろしくお願いいたします。それでは会議に先立ちまして配布資料の確認など、事務局お願いします。

◎梅原企画政策課長 資料は事前に郵送しておりますが、次第が1枚、その下に資料が1から4までございます。不足ある方は挙手をお願いします。

また、参考として小金井しあわせプランの全部をメールで送らせていただいておりますので、御確認いただければと思います。

会議に先立ちまして、Web会議のルールを共有したいと思います。発言する際は、挙手し、指名されましたら御発言ください。カメラはオンにしておいてください。雑音などを避けるた

め、マイクはミュートにさせていただき、発言する時にマイクをオンにするようにお願いします。  
また、委員以外の方が映り込まないよう御注意ください。

続いて、その他注意事項です。録音や録画は行わないようお願いします。通信が途切れた時は、事前に御案内した事務局の電話へ連絡をお願いします。

ここまでで御不明な点ありますでしょうか。それでは議題に沿って進行いただきたいと思います。

なお、本日の議題は資料に沿って総合戦略及び人口ビジョンに関する報告が中心となりますので、事務局からの説明が長く続くかと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、渡邊委員長よろしく願いいたします。

◎**渡邊委員長** それでは次第1「新規委員について」を議題とします。事務局より説明をお願いいたします。

◎**梅原企画政策課長** この度、前回まで公募市民の委員を務めていただいていた中野委員が市外へ転居されたため、新たに野口委員に加わっていただくこととなりました。初めに野口委員から一言御挨拶いただきたいと思います。それでは、野口委員お願いいたします。

◎**野口委員** どうも初めまして。野口真由と申します。この度、前の方が辞任されたとのことで、本日から委員会に参加させていただくことになりました。可能な範囲で頑張りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

◎**梅原企画政策課長** ありがとうございます。新規委員の御紹介については以上となります。渡邊委員長お願いいたします。

◎**渡邊委員長** ただいま御紹介いただきましたが、今後はこのメンバーで委員会を行っていきますので、よろしくをお願いします。

---

◎**渡邊委員長** それでは、続いて次の議題に入る前に「意見・提案シート」が資料として提出されておりますので、事務局より説明をお願いいたします。

◎**梅原企画政策課長** 資料1として、前回の会議後に傍聴の方から「意見・提案シート」をいただいておりますので、お取扱いを御協議いただきたいと思います。

本委員会では、「意見・提案シート」は資料とした上で、委員から審議に取り上げたいと申し出があった場合審議することとなっております。委員長お願いいたします。

◎**渡邊委員長** 傍聴の方から「意見・提案シート」をいただきました。内容は、2点ございます。1つ目は、WEB会議に関するもので、本日行っているようなWEB会議の開催に賛成の御意見をいただきました。もう1つは、令和2年度の評価シートの誤字に関する御指摘をいただきました。

この2点について、事務局から何か説明はございますか。

◎**梅原企画政策課長** まず1つ目のWEB会議につきまして、オンラインでの傍聴については、現時点では実施しておりません。市民参加等の観点から、今後検討が必要と考えております。

なお、本日は緊急事態宣言の発令中であることを踏まえ、傍聴自体を中止させていただいておりますが、通常は、WEB 会議を視聴することができるよう、市役所の会議室等に傍聴環境を用意するものとしております。

また、WEB 会議の実施につきましては、本委員会では委員の皆様にご協賛いただき、実施することを決定いただいたところですが、他の審議会等も活用を進めているところです。

WEB 会議につきましては、途中で通信が途切れてしまうなどの課題もございますが、引き続き、状況に応じ、実施を検討してまいりたいと思います。

続きまして、評価シートの誤字についてですが、こちらは御指摘いただいたとおり、記載の誤りでしたので修正させていただきました。前回の会議後、修正した評価シートを公表させていただいております。誠に申し訳ございませんでした。

事務局からの説明は以上です。

◎**渡邊委員長** それでは、いただいた意見・提案シートについて、WEB 会議は引き続き状況に応じて実施を検討し、評価シートについては修正済みということですので、ここでの取扱いを終了してよろしいでしょうか。

---

◎**渡邊委員長** 続きまして、次第 2 「パブリックコメントの結果について」を議題といたします。事務局より、資料の説明をお願いいたします。

◎**梅原企画政策課長** 資料それでは、パブリックコメントの結果について、報告いたします。資料 2 「小金井しあわせプラン（第 5 次小金井市基本構想・前期基本計画）（案）に対する意見及び検討結果（2 回目）について（概要）」を御覧ください。

パブリックコメントにつきましては、長期計画審議会において、令和 2 年 6 月に 1 回目のパブリックコメントを実施しておりますが、その時点での計画案はコロナ禍の前に作成されたものであったため、パブリックコメントの御意見や市議会での御意見でも、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた計画となるように再度検討を求められたところです。その後、小金井しあわせプランの検討期間を延伸し、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた計画となるよう長期計画審議会にて検討を重ね、2 回目のパブリックコメントを実施したところです。

小金井しあわせプランと総合戦略の統合に向け、一体的に策定しておりますので、皆様にご協賛いただいた総合戦略の部分も含めた形で、小金井しあわせプランに対して意見募集を行いました。期間については、令和 3 年 2 月 16 日から 3 月 15 日までの 1 か月間で行い、提出された御意見は合計で 3 人、延べ 8 件という結果でございました。

「3 意見の提出状況」の「(3)意見内容の内訳」を御覧ください。資料の 2 枚目になりますが、「ウ まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関する御意見は 0 件でございました。そのため、総合戦略部分の文案については、これまで御協賛いただいた内容のとおりとし、長期計画審議会において計画（案）の答申を作成いただいたところでございます。説明は以上です。

◎**渡邊委員長** 今回のパブリックコメントでは総合戦略に関する御意見の提出は無かったとい

うことです。この件について、何が御質問等がございますか。

(質疑なし)

◎渡邊委員長 よろしいでしょうか。

---

◎渡邊委員長 それでは、続きまして、次第3「第2期小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略について」を議題といたします。事務局より、資料の説明をお願いいたします。

◎梅原企画政策課長 資料3「第2期小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を御覧ください。こちらは、パブリックコメントの結果を受け、長期計画審議会が作成し、令和3年4月21日に市長へ提出された小金井しあわせプラン（第5次小金井市基本構想・前期基本計画）（案）の答申より、総合戦略部分を抜粋したものでございます。総合戦略につきましては、先ほど説明いたしましたパブリックコメント前の文案から修正はございませんでしたので、令和2年11月24日のまち・ひと・しごと創生総合戦略等推進委員会で御確認いただいた文案から修正はございません。

それでは、総合戦略の概要について、改めて説明させていただきます。

資料3の1頁を御覧ください。こちらに「第3部」と記載がございますが、これは小金井しあわせプランの中では、総合戦略の部分は第3部に記載されているためです。

2頁を御覧ください。上段には総合戦略の目的と計画期間が記載されております。第2期の期間は令和3年度から令和7年度となります。下段には、これまで別々の計画であった基本構想・前期基本計画と総合戦略を一体的に進めていくことが、計画の目的を達成するためには有効であるという認識の下、第5次基本構想・前期基本計画からは一体的なつくりとしていることが記載されております。

3頁を御覧ください。総合戦略の構成について記載されております。第2期総合戦略では、国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえ、3つの基本目標と2つの横断的な目標から構成しております。

なお、この間の国の動きとしましては、コロナ禍による新しい働き方や関係人口の創出・拡大など、地方創生を進めることに関して、これまでの方針に変更はなく、小金井市の総合戦略においても、国の方針と一致していると考えております。

4頁から5頁を御覧ください。3つの基本目標と数値目標、2つの横断的な目標について、記載されております。こちらにつきましても、国の方針に変更がないことパブリックコメントで御意見の提出がなかったことから、前回お示しした文案から修正はございません。

6頁を御覧ください。総合戦略の基本目標と前期基本計画における各施策との関係を表にして掲載されております。

総合戦略についての説明は以上です。委員長お願いいたします。

◎渡邊委員長 ただいま事務局から報告がありましたが、総合戦略については、これまでの文案から修正はなく、長期計画審議会より答申が市長へ提出されております。この件について、

何が御質問等がございましたらお願いします。いかがでしょうか。

大森委員お願いします。

◎大森委員 4ページあたりに数値目標の市内滞在人口や、市内3駅の1日平均の乗客数の増加というものがあるのですが、こういうものはコロナ禍において、当然変動しているかと思えます。こういう数字については、今まで目指していたものと、ウィズコロナ・アフターコロナで数値が違ってくると思うので、そういったものを勘案した数字も合わせて載せていくことが必要ではないかなと感じています。その点を確認させていただければと思います。

◎渡邊委員長 事務局お願いします。

◎梅原企画政策課長 今回の総合戦略の内容といたしましては、11月24日に確認いただき、パブリックコメントを実施し、答申をいただき確定したところです。今、御意見いただいておりますようなことについても、非常に大切な視点かと思えます。この計画を作って、また評価していくこととなりますので、その時点で、そういったことも合わせて考えていきたいと思えます。

◎渡邊委員長 大森委員、よろしいでしょうか。

◎大森委員 ありがとうございます。評価する段階で、単純に数値が目標に達しなかったと評価するのではなく、予測をしながら、その状況に合わせて評価していかなければならないなと思いましたので、その点を勘案していただければと思います。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。他にございますか。よろしゅうございますか。

大森委員の御意見のように、コロナ絡みのことで、数値の変更はあると思えますので、そのことは注意しながら評価していくようお願いしたいと思えます。

---

◎渡邊委員長 それでは、続きまして、次第4「人口ビジョンについて」を議題といたします。事務局より、資料の説明をお願いいたします。

◎梅原企画政策課長 資料4、「人口ビジョン」を御覧ください。地方公共団体においては、総合戦略と同様に、将来の人口を推計し、施策の方向性の前提となる地方人口ビジョンの策定に努めるものとされております。第1期総合戦略においても、平成27年（2015年）から令和42年（2060年）までの人口ビジョンを策定しており、この度、第5次基本構想・前期基本計画及び第2期総合戦略の策定に当たり、人口ビジョンの時点修正を行いました。

人口ビジョンにつきましては、4月27日に開催した庁内のまち・ひと・しごと創生本部において、承認され策定いたしましたので報告いたします。

それでは、資料の説明に戻らせていただきます。資料1頁の中段を御覧ください。推計手法は現行の人口ビジョンと同様であり、推計期間は、令和3年（2021年）から令和42年（2060年）までの期間で推計を行っております。

資料1ページ目下段のグラフを御覧ください。人口のピークは令和13年（2031年）に12万7,877人となり、その後人口が減少し、令和42年（2060年）には11万7,

509人となる推計となっております。

続きまして、資料2頁目の「人口構成の変化」を御覧ください。

年少人口、生産年齢人口、老年人口の3区分別の人口推移をみると、65歳以上の老年人口は令和37年（2055年）まで増加し、14歳以下の年少人口と、15歳から64歳の生産年齢人口は、令和7年（2025年）まで増加しますが、その後減少に転じる見込みとなっております。

3頁目以降は、地区別の人口推計となっております。詳細は資料を御覧いただければと思いますが、ピークを迎えますのは、武蔵小金井地区は令和17年（2035年）、東小金井地区は令和22年（2040年）、野川地区は令和7年（2025年）となっており、その後全ての区分で人口が減少する見込みとなっております。

現行の人口ビジョンと比較すると、人口のピークが後ろに伸び、移動の減少が緩やかになっております。

なお、一般的な人口推計として用いられる、国立社会保障・人口問題研究所、いわゆる社人研による平成30年の人口推計では、全国の市町村のうち2015年よりも2045年の推計人口が多い市区町村は全体の5.6%（94市区町村）と非常に少ないですが、小金井市もその中に含まれていることから、現時点では全国的にみても小金井市は、当面の間は人口が増え、その後の減少のスピードも緩やかな自治体と言えると思います。

続きまして、資料はございませんが、最近の小金井市の人口の変化や東京都の状況について御報告いたします。令和2年から令和3年にかけては、新型コロナウイルス感染症の影響により東京都全体の人口が減少しており、東京都のホームページに掲載されている「東京都の統計」によりますと、去年と今年の4月1日現在の比較で約25,000人減少しているとのことです。

続きまして、小金井市の状況についてです。小金井市については、去年の4月から今年の4月にかけて、人口が増加しており、1年間で約1,500人増加しているところです。これは、4月1日現在においては、多摩26市中1位であり、東京都全体でも江東区に次いで2位となっております。

なお、最近の小金井市の人口の動きですが、令和2年から令和3年にかけて特に本町6丁目の世帯数・人口が大きく増えています。1年間で、556世帯、1,225人増えており、これは令和2年に完成した武蔵小金井駅南口地区の大規模マンションへの転入者によるものと考えられます。直近の情報によりますと、この1年間で500世帯以上の入居があったものと聞いております。人口ビジョンにつきましては、令和3年4月1日を基準人口としておりますので、この転入者の増加も踏まえたところから推計をスタートしております。

今後、人口ビジョンは、第5次基本構想・前期基本計画案及び総合戦略の付属資料として6月の市議会に提出し、御審議いただく予定です。説明は以上です。委員長お願いいたします。

◎渡邊委員長 ただいま事務局から人口ビジョンについて報告がありましたが、この件について

て、何が御質問等がございますか。

(質疑なし)

◎渡邊委員長 よろしゅうございますか。

---

◎渡邊委員長 それでは、続きまして、次第5「今後のスケジュールについて」を議題といたします。事務局より、説明をお願いいたします。

◎梅原企画政策課長 今年度、会議については残り3回開催することを予定しております。今回の会議は、7月から8月頃を想定しております。内容は、昨年と同様に評価シートの作成をお願いしたいと考えております。今回は令和2年度の評価となります。日程調整及び評価シート等の資料については、後日改めてメールを送らせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

その後は、令和2年度評価シートのまとめ、来年度以降に向けた協議を行っていただきたいと考えておりますので、引き続き御協力をお願いいたします。

◎渡邊委員長 スケジュールについて説明がありましたが、何が御質問等がございますか。

(質疑なし)

◎渡邊委員長 よろしゅうございますか。

---

◎渡邊委員長 続きまして、次第6「その他」についてです。事務局から何かございますか。

◎梅原企画政策課長 特にございません。

◎渡邊委員長 他に何か御質問等ある方はいらっしゃいますか。特になければ、これで本日の議題は全て終了しましたので、会議を閉じたいと思います。お疲れ様でした。

(午後7時30分閉会)